

【大江町】

校務 DX 計画

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、以下の取り組みや検討を実施し、校務 DX を進めていく。

1. FAX・押印

FAX については、公所との連絡にはほぼ使用しておらず、災害時やネットワークの不具合時など、FAX の方が効率的な場合を除き、FAX の原則廃止を視野にいて取り組んでいく。

押印については、財務伝票の電子決済化による押印廃止など、押印廃止や公印省略が進んできているが、今後も引き続き見なおしを図っていく。

2. 校務支援システム

令和2年度に中学校に入れた校務支援システムと同じシステムを、令和4年度に小学校に導入したことにより、小学校から中学校に上がる際に電子データで情報のやり取りができるようになり、入力作業等の労力の削減が図れた。現在は校内設置のサーバー方式であるため、教職員の働きやすさの向上を目指し、システムの更新時期にあわせてセキュリティ対策を十分に講じたうえでのクラウド化を検討したい。

3. 連絡網システムの活用

学校と保護者間の連絡用に導入した連絡網システム(さくら連絡網)で、学校からのお便り、通知等を送付しており、保護者間でも定着してきた。令和5年度からはそれらに加え出欠遅刻早退等の連絡も同システムを利用する等、システム利用の幅を広げている。今後もシステムの活用を推進し、学校・保護者間における負担軽減と、教職員の働き方改革を推進していく。